

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：令和4年9月9日（金）
13：45～15：20

場 所：奥出雲町立鳥上小学校
教室・体育館

対象者：奥出雲町立鳥上小学校5・6年生9名

指導者：5・6年生担任
古代出雲歴史博物館2名

1. 主題

古代の奥出雲町と奈良の大仏

2. ねらい

- ・古代の奥出雲町（鳥上地区周辺）の歴史学習を通し、歴史や文化財に対する興味・関心を高める。
- ・「奈良の大仏」について体験的、専門的に学び、その巨大さを実感すると共に、そこに込められた先人の思いについて知る。

3. 展開

時間	学習活動	指導者の支援及び留意点	準備物
13:45	1 学習の見通しを持つ（教室） ・講師の紹介 ・学習の流れ ・本時のめあての確認	・講師の仕事等を話す。 ・学習の流れの揭示	
13:50～ 14:05 (15分)	2 地域の遺跡について学ぶ ・学校周辺の遺跡などを知る ・土器などを見る (移動・休憩)	・学校周辺に遺跡が多いことを説明する。 ・古代に使用していたものを観察し、当時の生活や技術について理解できるようにする。	土器セット 玉セット
14:15～ 14:50 (45分)	3 奈良の大仏の巨大さについて体験を通して学ぶ（体育館） ・1m四方の部品をパズル形式で組み立て、高さ18mの大仏を完成させる。 ・大仏が作られた背景と、大仏の特徴について学ぶ。 ・独特な仏像の作風について質問し、疑問を解く。 (移動・休憩)	・奈良の大仏の実物大パネルを活用する。 ・理解しやすい写真パネルを多用する。	ビニール手袋 大仏パネル 写真パネル
15:00～ 15:20	4 学習を振り返り、感想を発表する。	アンケートの記入	アンケート用紙

4. 準備物

- ・学校・・・ビニール手袋・ペーパータオル等（使い捨て）、プロジェクター、パソコン等
- ・児童・・・ノート、筆記用具
- ・博物館・・・大仏パネル（説明用パネル含む）、活動説明資料、消毒液